様式第９

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
尾張旭市	尾張旭市	平成 26 年度～平成 30 年度	平成 26 年度～平成 30 年度

１　目標の達成状況

(ごみ処理)

指　　標		現状（割合※１） (令和　　年度)	目標（割合※１） (令和　　年度)　A	実績（割合※１） (令和　　年度)　B	実績/目標※２
排出量	事業系　総排出量	t	t（　　%)	t（　　%)	%
	１事業所当たりの排出量	t	t（　　%)	t（　　%)	%
	生活系　総排出量	t	t（　　%)	t（　　%)	%
	１人当たりの排出量	kg/人	kg/人（　　%)	kg/人（　　%)	%
	合　計　事業系生活系総排出量合計	t	t（　　%)	t（　　%)	%
再生利用量	直接資源化量	t（　　%)	t（　　%)	t（　　%)	%
	総資源化量	t（　　%)	t（　　%)	t（　　%)	%
エネルギー回収量	エネルギー回収量（年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	t（　　%)	t（　　%)	t（　　%)	%

※１　排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量＋集団回収量に対する割合を記載。

※２　排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、（実績の割合-現状の割合）/（目標の割合-現状の割合）を記載。

(生活排水処理)

指　　標		現　状 (平成２４年度)	目　標 (令和元年度)　A	実　績 (令和元年度)　B	実績/目標※３
総人口		８１,７９２	８３,２００	８３,７９７	―
公共下水道	汚水衛生処理人口	５２,１０５	６２,４８２	６０,７４８	83.3%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	６３．７％	７５．１％	７２．５％	77.2%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	０	０	０	―
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	０％	０％	０％	
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	１３,０６２	１１,９９４	１４,２３３	-109.6%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	１６．０％	１４．４％	１７．０％	-62.5%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	１６,６２５	８,７２４	８,８１６	98.8%

※３　（実績の割合-現状の割合）/（目標の割合-現状の割合）を記載

２　各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間（事業計画期間）	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの						
処理体制の構築、変更に関するもの						
処理施設の整備に関するもの		浄化槽設置整備事業	尾張旭市	下水道の未整備地域を対象に、合併処理浄化槽への転換費用を補助する。（事業実施期間中２５基計画）	平成２６年度～平成３０年度	設置基数 H26：5 人槽 2 基、7 人槽 2 基 10 人槽　基　小計 4 基 H27：5 人槽 6 基、7 人槽　基 10 人槽　基　小計 6 基 H28：5 人槽　基、7 人槽 4 基 10 人槽　基　小計 4 基 H29：5 人槽 1 基、7 人槽　基 10 人槽　基　小計 1 基 H30：5 人槽　基、7 人槽 1 基 10 人槽　基　小計 1 基 合計 16 基
施設整備に係る計画支援に関するもの						
その他						

３　目標の達成状況に関する評価

公共下水道については、供用開始区域における下水道接続工事が計画通りに進行していないため、目標を達成できなかった。
合併処理浄化槽等については、補助制度の活用により、単独処理浄化槽又は汲み取り便槽からの転換が進む一方で、それを上回る下水道への接続を見込んで人口・普及率共に減少を目標としていたが、下水道への接続工事が目標ほど進まなかったこともあり、実績では人口・普及率共に増加する結果となった。
総人口が目標（83,200 人）より実績（83,797 人）が上回ったため、未処理人口は目標値（8,724 人）に比べ実績値（8,816 人）の方が多く、目標を達成できなかったものの確実に減少しており、汚水衛生処理率に関しては、目標を達成している。

（都道府県知事の所見）

公共下水道において接続工事が計画とおりに進行していないことが課題となっており、合併処理浄化槽等及び未処理人口にも影響している。
生活排水処理の普及拡大については、環境保全に対する意識を高め、市民と行政が一体となって進めていくことが重要である。下水道供用開始区域内外で、それぞれ改善計画書に示す広報・啓発活動を積極的に推進することで、目標を達成するよう努めていただきたい。